

区分	☐ 新規 ☒ 再提案 (R7・8・28 第157回総会；上田市ほか)		
種類	☐ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの ☒ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの ☐ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの ☐ その他（ ）	分野	☒ 総務文教 ☐ 社会環境 ☐ 経済 ☐ 危機管理建設
要望先	☒ 国	担当省庁	国土交通省
	☐ 県	担当部局課室	企画振興部交通政策局交通政策課
	☐ その他	名 称	
件名	経営分離された並行在来線に係る新たな支援制度の創設等について		
提案市	長野市、 <u>上田市</u> 、小諸市、佐久市、千曲市、東御市		
提案要旨	J R から経営分離された並行在来線について、運営する鉄道事業者が引き受けた過大設備のスリム化に要する経費の支援制度を創設するとともに、急速に老朽化が進む鉄道施設の修繕費に対する新たな補助制度の創設及び地方財政措置を講じることを要望する。		
提案理由	並行在来線はかつての J R の幹線であり、これらを含む J R の広域的な鉄道ネットワークは、経営分離された並行在来線の運営を行う鉄道事業者の営業努力、利用促進の取り組みのみに頼ることなく、国鉄改革の経緯に鑑み、その実施者である国の責任において、適切に堅持されるべきものである。		
現況及び課題等	しなの鉄道は、北陸新幹線の開業に伴い J R から経営分離された全国初の並行在来線である。沿線自治体にとっては、経営分離以前と同様、日常生活に欠かすことのできない社会インフラであるとともに、国の物流政策や大規模災害時における物資輸送のリスク分散の観点からも国民経済全体を支える重要な役割を果たしている。 開業から27年が経過し、度重なる災害や沿線人口の減少などを要因とする厳しい経営状況に加えて、施設の老朽化により令和5年6月に発生した脱線事故の再発防止策なども必要となっている。これまで以上に安全性の向上に取り組みながら、地域鉄道の役割を果たしていくためには、相応の財源を確保する必要がある。		
関係法令			